

事前評価調書

I 事業概要																																													
事業名	農業農村整備事業（防災ダム事業）																																												
地区名	ほりがねいけ 堀金池地区																																												
事業箇所	額田郡幸田町																																												
事業のあらまし	<p>本地区は、額田郡幸田町の南部に位置しており、堀金池は地域のかんがい水源として重要な役割を果たしている。</p> <p>しかし、堤体の耐震性や、洪水吐の流下能力不足により、万一、決壊した場合には、下流の人家や公共施設等に甚大な被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、早急に地震対策及び豪雨対策を行い、ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全確保を図る。</p>																																												
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>ため池決壊による被害を未然に防止し、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <p>（基準雨量：250.3mm/日、1/200年確率雨量）</p>																																												
事業費	事業費 1.0億円	内訳 ■工事費 0.7億円、■用補費 0.1億円、■その他 0.2億円																																											
事業期間	採択予定年度 2020年度	着工予定年度 2021年度	完成予定年度 2023年度																																										
事業内容	堤体工、洪水吐工 各一式																																												
II 評価																																													
①事業の必要性	1) 必要性	<p>堀金池は、堤体の耐震性不足や洪水吐の流下能力不足により、地震時・豪雨時には決壊する恐れがある。</p> <p>このため、堤体の耐震整備や洪水吐を改修することにより、ため池の決壊を未然に防ぎ、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;"></th> <th style="width: 20%;">必要能力</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">堀金池</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">堤体の耐震化</td> <td rowspan="2">安全率 1.2以上</td> <td>現況</td> <td>0.992</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>1.218</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">洪水吐の改修</td> <td rowspan="2">計画排水量 (m³/s)</td> <td>現況</td> <td>4.65</td> </tr> <tr> <td>計画</td> <td>5.45</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、「新たな土地改良の効果算定マニュアル」（2015年9月農林水産省農村振興局整備部監修）に基づき算定したB/Cは9.43で1.0を越えている。</p>						必要能力		堀金池	堤体の耐震化	安全率 1.2以上	現況	0.992	計画	1.218	洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	4.65	計画	5.45																							
		必要能力		堀金池																																									
堤体の耐震化	安全率 1.2以上	現況	0.992																																										
		計画	1.218																																										
洪水吐の改修	計画排水量 (m ³ /s)	現況	4.65																																										
		計画	5.45																																										
判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <p>堤体等の耐震性不足や洪水吐施設の流下能力不足により、ため池決壊の危険性が高いことから、本事業により災害の未然防止を行うことが急務であるため。</p>																																											
②事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">2020</th> <th style="width: 15%;">2021</th> <th style="width: 15%;">2022</th> <th style="width: 15%;">2023</th> <th style="width: 15%;">2024</th> <th style="width: 10%;">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・堤体工 ・洪水吐工</td> <td></td> <td style="text-align: center;">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">1.0</td> <td style="text-align: center;">1.0</td> </tr> </tbody> </table>						2020	2021	2022	2023	2024	合計	工種区分	調査・設計	←→					用地補償	←→					工事						・堤体工 ・洪水吐工		←→				事業費（億円）		1.0				1.0
		2020	2021	2022	2023	2024	合計																																						
工種区分	調査・設計	←→																																											
	用地補償	←→																																											
	工事																																												
	・堤体工 ・洪水吐工		←→																																										
事業費（億円）		1.0				1.0																																							

	2) 地元の合意形成	地元からの申請事業であり、事前に地元関係者への説明などを行っており、概ね合意が得られている。	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
		【理由】 円滑に事業が実施できる環境が整っており、計画の実行性が確保されている。	
Ⅲ 対応方針			
事業実施が妥当である。	事業実施が妥当である。： 上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。： 上記以外のもの。		
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容			
<p>■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/>対象外</p> <p>【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】</p> <p>—</p> <p>【主な評価内容】</p> <p>事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生した場合、その効果により評価する。事業完了後5年以内に計画規模と同等の降雨が発生しなかった場合は、事業完了後5年間の最大規模の降雨により評価する。</p>			